

マレーシア・カジノとクルージングの旅

## ルーレットのボールの行方に洩れるため息 カードの絵札に思わず熱くなる 豪華客船でのんびりクルージング



堂々たるゲンティン・リゾートホテル。

世界最大のイスラム教国家マレーシアに、豪華なカジノがあることはあまり知られていない。首都クアラルンプールから車で約1時間、標高2000mの下界と隔絶された高原に、東南アジア有数のカジノを持つ巨大なリゾートホテルがある。このカジノのできたいきさが面白い。数十年前、華僑系財閥の林氏がマレーシア政権実力者とカジノ認可を求めてある賭けをして、それに林氏が勝ったからだという。その賭けの内容はいささか下ネタに属するのでここでは紹介できないが、マレーシアの華僑なら誰でも知っているという。

そのカジノは、バカラ、ブラックジャック、ポーカーからルーレット、数秒で勝負が着くカジノウォー、さらにダイスの目の大小を当てる大小や牌九など様々で、まさにカジノのデパート状態。マレー人はカジノのみ入場禁止なので、客の多くは中華系。中には台湾や香港からの客もいる。年中無休の24時間営業。夜も更けてくるとあちこちで歓声や溜息が聞こえ出した。

アジアを代表する客船会社スター・クルーズ。マレーシアやシンガポールなどを中心に、豪華客船スーパースター・ヴァーゴを運行している。日本人スタッ



白熱するカジノ。



レセプションの女の子。



街で見かけた若い娘さん。



豪華なクルーズ船。



ランはこの国のシンボル。

フも常駐し、クルーズ中に繰り上げられるイベントやディスコ、フィットネスなども日本語OKだ。日本ではなかなか味わえないリッチな時間がゆったりと流れて行く。

大のアメリカ嫌いとして知られるマハティール首相。彼の目指した国は高度成長期の日本だ。そしてマレー人と華僑、インド人などの多民族国家を、ここまで発展させた。その秘訣は、イスラムではご法度の飲酒やカジノすら認める柔軟さ、寛容さにある。私は軽くなった財布を握り締め、再びカジノへ向かった。



古都マラッカはクルーズ客に大人気。